

4月18日は多久聖廟へ

恒例の春季釈菜が4月18日(日)に多久聖廟で催されます。釈菜に先立ち、「四配の像」安置式も執り行われますので、みなさまぜひ、足をお運びください。

●四配の像安置式

10時～10時30分

多久聖廟には孔子像とともに、四配(顔子・曾子・子思子・孟子)の像が安置されています。今の四配の像は、昭和26年に青銅製のものが盗難に遭ったため、唐津焼で復元されたものです。

今回、「多久市ふるさと応援寄附」としていただいたご厚意により、残された歴史資料に基づき、本来の青銅製の像を制作しました。釈菜の前にみなさんに披露して、聖廟に安置します。

■問い合わせ

生涯学習課

文化スポーツ係

☎74-3241

■当日の催し

【聖廟境内】

○釈菜

10時30分～11時30分

○釈菜の舞

11時30分～11時45分

○揚琴の調べ

11時45分～12時

○参列生徒の唱歌

12時～12時5分

【仰高門前】

○孔子の里腰鼓

12時10分～12時20分

■問い合わせ

財団法人 孔子の里

☎75-5112



写真は昨年の催しから



市長のWindow

▼市民のみなさんへ

感動のピアニスト

若人が巣立つ3月、桜花爛漫の4月。春光天地に満ち、新たな生命の息吹をそこかしこに感じる春です。卒業式祝辞や3月市議会の施政方針演説でも紹介した若者がいます。

感動のピアニスト、辻井伸行さんです。彼は世界的に超難関で有名なヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールで、昨年、二十歳で、日本人として初めて優勝しました。

辻井さんは全盲です。生まれた時から目が見えません。それを知った母親は毎日涙が絶えなかったそうです。息子の今と将来を思うと、心配で心配で…ならなかったのです。

でも二歳のある日、母親がいつも口ずさむ歌を、彼はおもちゃのピアノで正確に弾きました。その才能に気付いた両親の支えとピアノの先生の導きで、長い年月の努力を経て、才能を花開かせていきます。普通は楽譜を見て練習しますが彼にはできません。でも「弾きたい」「音楽の感動を伝えたい」。そこで彼は音楽CDで演奏を聴き、全て記憶するよう努力します。音楽を聴き、ピアノの右手と左手の演奏を聴き分け、一瞬で正確に演奏できるようになっていきます。誰もやったことのないことです。有能なピアニストでも難しいベートーベンやショパン等の作品を演奏できるようになっていきます。そして世界的コンクールで優勝したのです。そのひたむきな歩みや、懸命な演奏には感動させられます。

辻井さんには「できないことを嘆くより、できることでベスト以上の努力をしよう」という心で、両親とともに重ねた日々があります。私達も、自分にできること、自分の才能を見つめ、希望の未来を信じ、努めたいものです。(俊彦)

市交際費支出状況

▼平成21年度2月分

支出種別	区別	件数	金額(円)
弔慰	今月分	0	0
	累計	86	235,470
見舞い	今月分	1	10,000
	累計	5	50,000
御祝	今月分	1	4,650
	累計	32	192,220
賛助	今月分	0	0
	累計	6	43,720
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	1	3,150
	累計	72	184,015
会費	今月分	7	21,500
	累計	32	100,500
その他	今月分	1	3,255
	累計	3	9,765
合計	今月分	11	42,555
	累計	236	815,690

◎詳細は市のホームページに掲載しています。

■問い合わせ 総務課・秘書係 ☎75-2115

▶ 市長のホームページ <http://www2.saganet.ne.jp/ys/> ◀